



学校だより

絆の草中

草野中学校 令和5年度第13号

令和5年9月8日

文責：校長 西田 英実

市中体連駅伝大会 走りきりました

9月7日（木）、いわき市中体連駅伝競走大会が行われました。生徒達はこれまでの練習の成果を発揮し、多くの生徒がほぼベストタイムを出すなど、大変よくがんばりました。これまで朝早くから、特に今夏は暑さが厳しい中、努力した成果が報われたと思います。順位も、女子11位、男子9位とすばらしい成績です。保護者の皆様、地域の皆様、応援、誠にありがとうございました。



女子のアンカー ラストスパート



男子のタスキリレー

また、大会の前日に行われた「駅伝壮行会」では、全校生で応援のゴールを送りました。現3年生を中心に進めてきた応援団にとっても最後の本格的な活動でした。振り返ってみると、本校の特設駅伝部は約50名ほどの生徒が参加して共に汗を流してきました。その中から最終的に選手が選ばれたわけです。全校生徒の多くが厳しい練習に取り組んで来たこととなります。応援団員にも特設駅伝で活動してきた生徒がいます。皆が仲間だ、ということです。

この駅伝を通して、練習に参加した生徒が、自分に自信をもち、一緒にがんばってきた仲間を誇りに思ってもらいたいと思います。



震災から学ぶ防災学習 2年生

今回は、2年生の震災学習について。2年生は、7月12日（水）、いわき震災みらい伝承館で学んで来ました。

生徒の感想を紹介します。

私はみらい館へ行って来ました。行く途中に灯台や津波が来た海などを見ることができました。海は、今すごくきれいで穏やかなのに、東日本大震災があった日、本当に津波が来たのか、と目を疑うほどでした。

震災のビデオを見ることができ、自分の命は自分で守ることが大切なんだな、と思いました（自助）。「共助」もとても大切なことで、今のうちから、避難訓練などをし、周りの人も助けられるようになりたいと思いました。



防災カレーが出ました

9月6日（水）、本校の給食に、「防災カレー」が出ました。正式には学校給食共同調理場が保管している「ヒートレスカレー」。非常災害時に食するレトルトのカレーです。

9月1日の「防災の日」にちなんで、一人一人が災害について認識を深め、これらに対処する心構えをもつことを目的に、給食の一部として提供されました。

温めなくてもいただけます。生徒からは「思ったよりおいしかった」等の感想が多く寄せられました。災害が起きないのが一番です。しかし、いつ起こるかわかりません。こうした食事をきっかけに、防災について考えていきたいものです。



<来週の予定>

日	曜	おもな行事
11	月	教育実習開始～10/2
12	火	弁当 ※1年生のスポーツ大会は21日に実施
13	水	スポーツ大会2年生、弁当、部活動なし
14	木	スポーツ大会3年生、弁当、学校司書出役
15	金	委員会（後期組織）、学校司書出役

<今週の言葉>

先週号に続いて防災特集

◎「天災は忘れた頃にやってくる」（日本国語大辞典）

自然災害はその被害を忘れたときに再び起こるものだという戒め。科学者の寺田寅彦が関東大震災を経験、分析し、防災に向けて表した言葉。

日本や世界で大きな自然災害が起きています。多くの人が「自分が被災して、初めて被災した人の気持ちがわかった」と話しています。「備え」が大切です。